

多文化子育て支援ガイドブック「日本語で つたえる コツ」ワークショップ アンケート

「多文化子育て支援ガイドブック『日本語で つたえる コツ』ワークショップ」にご参加いただきまして、ありがとうございます。今後の「日本語で つたえる コツ」普及・啓発活動に生かすため、下記のアンケートにご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、ご回答いただいた内容は、今後の普及・啓発活動において、ちらしやホームページ等でご意見として紹介させていただくことがあります。どうかご了承ください。

大阪ボランティア協会「日本語でつたえるコツ」広げる委員会(事務局:同協会永井美佳 nagai@osakavol.org)

▼あなたが参加したワークショップは、 2015年8月24日(月)、にほんご豊岡あいいうえお主催分です。

▼あなたのことについて教えてください。

1)外国人の保護者と接したことはありますか。

1. はい 2. いいえ 3. その他()

2)あなたのご専門やご所属、お立場は何ですか。

1. 保健師 2. 保育士 3. 子育て支援員 4. 子育てひろばのスタッフ 5. 幼稚園教諭 6. 小学校教諭
7. 中学校教諭 8. 高校教諭 9. 大学教員 10. 学生 11. PTA・PTA役員 12. 地縁組織の役員
13. 民生・児童委員 14. 国際交流協会職員 15. 市民活動団体(NPO法人、任意団体など)職員
16. 日本語教室ボランティア 17. その他のボランティア 18. ボランティアコーディネーター
19. 行政職員 20. ほか()

3)外国人とのコミュニケーションで、日頃から気をつけていることがあれば、教えてください。

▼ガイドブックの有効性について

4)「多文化子育て支援ガイドブック」で提案する「日本語でつたえるコツ」の内容は、多文化な子育ての現場で使えると思いますか？

1. とても使えと思う 2. 使える場面はありそう
3. 使える場面は少なそう 4. あまり使えなさそう 5. ほか()
→上記選択の理由は()

5)「多文化子育て支援ガイドブック」で提案する「日本語でつたえるコツ」の内容は、多文化な子育ての現場以外でも使えると思いますか？

1. とても使えと思う 2. 使える場面はありそう
3. 使える場面は少なそう 4. あまり使えなさそう 5. ほか()
→1 か2を答えた方へ、どんな場面で使えそうですか？()

6)「日本語でつたえるコツ」を活かしたコミュニケーション力を、もっと身につけたいですか？

1. 機会があれば身につけたい 2. 身につけたいとは思わない 3. ほか()
→上記選択の理由は()

▼ガイドブックの普及・啓発活動をすすめるために

7)「日本語でつたえるコツ」ワークショップや「多文化子育て支援ガイドブック」を、ほかの人にお勧めする“トーク”をぜひ考えてみてくださいませんか。

▼その他

8)ご意見、ご感想など、ぜひ一言どうぞ。

ご協力、ありがとうございました。

多文化子育て支援ガイドブック「日本語でつたえるコツ」ワークショップアンケート

NPO法人にほんご豊岡あいうえお

開催日	2015年8月24日(月)13時30分から16時30分
会場	豊岡市民プラザ
主催者	NPO法人にほんご豊岡あいうえお

★入力注意1: 選択式の回答は、セルの右に出てくる▼内の選択肢より選んで、入力内容を確定してください。

★入力注意2: ▼内の選択肢に()に自由記述がある場合は、文字入力をして確定してください。一度エラーメッセージが出ますので、「はい」を押して入力確定してください。

▼あなたのことについて教えてください。			▼ガイドブックの有効性について			▼ガイドブックの普及啓発活動をすすめるために		
1) 外国人の保護者と接したことはありますか。	2) あなたのご専門やご所属、お立場は何ですか。	3) 外国人とのコミュニケーションで、日頃から気をつけていることがあれば、教えてください。	4) 「多文化子育て支援ガイドブック」で提案する「日本語でつたえるコツ」の内容は、多文化子育ての現場で伝えると思いますか。	5) 「多文化子育て支援ガイドブック」で提案する「日本語でつたえるコツ」の内容は、多文化子育ての現場以外でも伝えると思いますか？	6) 「日本語でつたえるコツ」を活かしたコミュニケーション力を、もっと身につけたいですか？	7) 「日本語でつたえるコツ」ワークショップや「多文化子育て支援ガイドブック」を、ほかの人にお勧めする“トーク”をぜひ考えてみていただけませんか。	8) ご意見、ご感想など、ぜひ一言どうぞ。	
1. はい 2. いいえ 3. その他()	1. 保健師 2. 保育士 3. 子育て支援員 4. 子育てひろばのスタッフ 5. 幼稚園教諭 6. 小学校教諭 7. 中学校教諭 8. 高校教諭 9. 大学教員 10. 学生 11. PTA・PTA役員 12. 地域組織の役員 13. 民生・児童委員 14. 国際交流協会職員 15. 市民活動団体(NPO法人、任意団体など)職員 16. 日本語教室ボランティア 17. その他のボランティア 18. ボランティアコーディネーター 19. 行政職員 20. ほか()	自由記述	1. とても使えると思う 2. 使える場面はありそう 3. 使える場面は少なそう 4. あまり使えなさそう 5. ほか()	1. とても使えると思う 2. 使える場面はありそう 3. 使える場面は少なそう 4. あまり使えなさそう 5. ほか()	1. 機会があれば身につけたい 2. 身につけたいとは思わない 3. ほか()	自由記述	自由記述	
例 2. いいえ	6. 小学校教諭	***	1. とても使えると思う	***	1. とても使えると思う	***	***	
1. はい	19. 行政職員		1. とても使えると思う		2. 使える場面はありそう	1. 機会があれば身につけたい	これから取り組みべきことがわかってきました。大変勉強になりました。ありがとうございました。	
2. はい	1. 保健師	言葉だけでなく、メモ用紙に書いて渡す。	1. とても使えると思う		1. とても使えると思う	1. 機会があれば身につけたい		
3. はい	19. 行政職員	簡潔にわかりやすく	1. とても使えると思う		1. とても使えると思う	1. 機会があれば身につけたい	外国の方と関わることの困り感(ママ)を共有できてよかった。今後関わるうえで実践していきたい。	
4. はい	3. 子育て支援員		2. 使える場面はありそう		2. 使える場面はありそう	1. 機会があれば身につけたい	日本人の感覚でついつい話してしまうということが多々あります。自分から変わっていきけるように心がけていきたいと思っています。	
5. 無答	16. 日本語教室ボランティア	“人と人のつながりの場”としてそれを大切に教えています。	1. とても使えると思う		1. とても使えると思う	1. 機会があれば身につけたい	色々な分野の方のお話が聞けて良かったです。	
6. はい	20. ほか(家庭相談員)	日本人同士で話す場合にはくどいようなことも、今日の話を聞く限りではありそう。	2. 使える場面はありそう	今は内容がまだ読めていないが、今日の話を聞く限りではありそう。	2. 使える場面はありそう 家庭相談、特別支援、大いに共通します。	1. 機会があれば身につけたい	今は難しいです。 今日はありがとうございました。とても良い機会を得られたと思います。	

7	1. はい	19. 行政職員	できるだけ会って伝える	1. とても使えると思う	事例がたくさん載っている	1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い		考えたいと思います。	日本人には大変興味深い ありがとうございました。 勉強になりました。
8	1. はい	6. 小学校教諭		1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い			とても参考になりそうです ので、これからじっくり読 み、2学期からの指導に生 かしていきたいと思いま す。ありがとうございます
9	1. はい	16. 日本語教室ボランティ ア		1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い			
10	1. はい	16. 日本語教室ボランティ ア	相手が困っていること がないか聞くように している。	2. 使える場面はありそ う		2. 使える場面はありそ う	ボランティア教室で使 います。	1. 機会があれば身につけた い	日本語のボランティアを する上でも参考になりま す。		
11	1. はい	16. 日本語教室ボランティ ア	相手にできるだけ発 話してもらう。やさし い日本語を使う。	1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い	今後ますます必要にな る。タイ外国人だけでな くコミュニケーション方法 すべてに使える。		
12	1. はい	16. 日本語教室ボランティ ア	文化を理解してコミュ ニケーションをとる	1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い			
13	1. はい	1. 保健師	平易な表現を使うよ うにしている。	1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い			
14	1. はい	16. 日本語教室ボランティ ア	とにかく親身になっ て、相手の立場、気 持ちになって、です。	2. 使える場面はありそ う		2. 使える場面はありそ う		1. 機会があれば身につけた い	日常の場でも有効に使 えそうです。		ワークショップが目が覚 めてよかったです (JOKEです)ほかの方 の意見もいろいろ聞け て。
15	1. はい	16. 日本語教室ボランティ ア		1. とても使えると思う	こういう視点はともすれ ば気づかないまま暮らし ている。	1. とても使えると思う	生活全般	1. 機会があれば身につけた い	身につけたいと思いま す。		
16	1. はい	1. 保健師	わかりやすく伝えるこ とを心がけています が、伝わらないことが ありました。	1. とても使えると思う		2. 使える場面はありそ う		1. 機会があれば身につけた い	コミュニケーションが取れ ないことにより、外国人の方 が困らないように、孤立し ないように、お互いの意思 疎通できるように		ことばだけでなく、文化 やその人を理解すること も大切だとわかりまし た。
17	1. はい	10. 学生		1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い			
18	1. はい	16. 日本語教室ボランティ ア		1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い			
19	1. はい	3. 子育て支援員		1. とても使えると思う		1. とても使えると思う		1. 機会があれば身につけた い			とても興味深かったで す。ありがとうございます た。
20	1. はい	8. 高校教諭		2. 使える場面はありそ う		2. 使える場面はありそ う		1. 機会があれば身につけた い			

21	1. はい	1. 保健師	顔を見てわかりやすく話す。分かっているか確認する。	2. 使える場面はありそう		2. 使える場面はありそう		1. 機会があれば身につけた い		普段の会話の中でも役立つワークショップでした。 ありがとうございました。 参考になりました。 思いもよらないコツや色々な話を聞いてよかったです。
22	1. はい	6. 小学校教諭		2. 使える場面はありそう		2. 使える場面はありそう		1. 機会があれば身につけた い		
23	1. はい	1. 保健師		2. 使える場面はありそう		2. 使える場面はありそう		1. 機会があれば身につけた い		
24	1. はい	19. 行政職員	難しい言葉を使わないようにしています。	1. とても使えると思う	外国人の生の声が反映されているから	1. とても使えると思う	道を聞かれたり、外国人と話す場面で。	1. 機会があれば身につけた い	コミュニケーションが取れるに越したことはない。	
25	1. はい	1. 保健師	相手の表情を見る	2. 使える場面はありそう		2. 使える場面はありそう		1. 機会があれば身につけた い	外国人に接することも多い世の中になっている。	
	1. はい 2. いいえ 3. その他()	1. 保健師 2. 保育士 3. 子育て支援員 4. 子育てひろばのスタッフ 5. 幼稚園教諭 6. 小学校教諭 7. 中学校教諭 8. 高校教諭 9. 大学教員 10. 学生 11. PTA・PTA役員 12. 地縁組織の役員 13. 民生・児童委員 14. 国際交流協会職員 15. 市民活動団体(NPO法人、任意団体など)職員 16. 日本語教室ボランティア 17. その他のボランティア 18. ボランティアコーディネーター 19. 行政職員 20. ほか()		1. とても使えると思う 2. 使える場面はありそう 3. 使える場面は少なそう 4. あまり使えなさそう 5. ほか()		1. とても使えると思う 2. 使える場面はありそう 3. 使える場面は少なそう 4. あまり使えなさそう 5. ほか()		1. 機会があれば身につけたい 2. 身につけたいとは思わない 3. ほか()		

平成 27 年度文化庁委託事業多文化共生セミナー

アンケート集計

1 セミナー内容について

60 人中 36 人

①理解度	よく分かった	35	どちらともいえない	1	分からなかった	0
②有益度	参考になる	34	どちらともいえない	2	参考にならない	0

●今回の研修で、感じたことや印象に残ったこと

- ・”外国人に対する認識を変える”こと、私自身にも必要なことだと思いました。身近におられる方が短期労働者の方がほとんどなので、地域との交流が無いことも問題だと思いました。”自転車教室”良い案ですね。地域でもできそうですね。
- ・多文化共生といってもさまざまな内容が含まれていることが今回のセミナーで確認でき、問題の解決策などのヒントを得られてよかった。
- ・多文化共生、ごく一部の人がしか理解されていません。多分、市役所内でも、行政そして一般市民に理解してもらえようもっと情報発信の努力が必要。その意味で、最後の多文化共生、地域づくりはとても参考になるとおもいます。
- ・途中で失礼させていただき、申し訳ございません。田村様が、お話のはじめに言われたとおりで、やわらかい内容ではなく、日々、生活の中で、感じないこと、考えていないことに、改めて気付くことができ、60代を迎えた私と、これからの地域・社会、生き方などについて、考えさせていただくことができました。ありがとうございました。田村様の「ともすると難しいお話」を分かりやすく、時にユーモアを入れながらしてくださったのもとても良かったです。（最後まで聞かせていただくことができず、大変残念に思います）
- ・「多文化共生」という言葉の本当の意味が分かった気がします。今までは、外国人住民のため、だと思っていましたが、地域の人、自分のためでもあるのだと感ずることができました。
- ・地域に外国人がとけこめるような機会が増えるといいと思うのだが、市役所だけでなく、会社の人意識がとても大切だと思いました。コミュニケーション、外国人を受け入れる心持も育てていくといいと思いました。
- ・普段、外国人と接する機会がほとんどないので、今日の研修の内容を行動に移すことは難しいが、外国人を市に受け入れることにより、人口増加、労働力増加につながるのと事なので、積極的に外国人を受け入れるべきだと学習した。

- ・目の前のにほんご教室とか小さなことだと、その奥の大きな流れを感じ、驚き、困惑、恥ずかしさ、自治体として取り組むことの多さ、目をそむけることができない現実
- ・外国人観光客が使うお金の金額に驚きました。豊岡に住んでいる外国人、豊岡にやってくる観光客のために、多言語標示の必要性を感じました。小さな食堂、商店の方が何カ国かの言葉で最低限のコミュニケーションがとれるように、市の方で支援することは地域の活性化につながると思いました。私の家には、年に1～2組ほどホームステイに外国人がやってきます。JRの数も少ないですし、交通の便、ガイドブックの充実などの必要性も受入れのたびに感じます。あと当初2泊の予定だった外国人に地元の観光地を紹介したところ、5泊滞在したいと依頼がきました。海外に向けてもっとPRすべきだと思いました。それと、永住権を持った外国人が増えること。もっと学校での外国語教育に力を入れるべきです。低学年のうちに実践的な教育を取り入れてほしいです。国際結婚の支援（子育て支援）は、長期定住へつながるのでは？
- ・ぜひ市長に聞いてほしかったです。
- ・年々、外国人がたくさん日本に入国していることが分かった。外国出身の子どもの学習支援は学校の教師だけでは難しいのが現状です。学習塾があることを聞いて良いことだと思いました。
- ・男女格差の大きさと、移民政策導入の有無が人口の減少に関係があることを初めて知った。
- ・先を見すえた新しい話で、とてもよかったです。先生の話もおもしろく、ききやすかったです。もっと多くの人に知ってもらいたい内容です。
- ・少子高齢化や人口減少など、多文化共生していく必要があると感じました。
- ・同業他者がいないこと。長期に定住する外国人が大切。
- ・小さな視点でしか見れていなかったことに気付かされました。少し先のことを考え、世の中の流れから大きな視点で見ていきたいと思います。
- ・人口減少を緩和するためには、北欧型の福祉国家のような、移民を受け入れる仕組みが必要だと思った。
- ・学校で働いているので、多文化共生教育については勉強していたが、こうして、全体について教えていただいたことで、教育以前のバックグラウンドが見えてきた。自分にできる活動をはじめてみようと思った。
- ・外国人対応を自治体に押しつける国の方針に疑問を感じた。
- ・地域社会にもっと外国人が入る必要があると感じた。それが地域の未来にもつながると思った。
- ・感想を申し上げたかったのですが、時間を延長して盛り上がっておいりましたのでアンケートにて失礼いたします。製造業における技能実習(外国人)は労働コストの削減の意味合いがあるかと思いますが、これはわれわれ日本人も同じ問題にさらされているかと認識しています。私は豊岡にてコウノトリ育む農法というモノ作りをしている農業者ですが、隣の

養父市は農業戦略特区の指定を受けました。しかし、原材料供給のためのモノ作りは環境変化により持続可能性が低いと思っています。輸出もよいですが、我々の米・豆・酒などを文化に添えて、城崎などでお金を落としてもらいつつ外国の方に楽しんでもらいたいなどいいアイデアの材料をいただきました。

- ・ 普段知ることが難しい在住外国人の困ったこと(墓のたて方や相続について)、まず学べたことが良かった。自分にできることは何か身近なことから考えて行動したい。
- ・ 4月から新任職員として豊岡市役所で働いています。何度も研修に参加しましたが、今日の研修が一番心に響きました。豊岡市の未来のために、多文化共生は必要だということがわかりました。まず、市民としてできることを一つ見つけてやっていきます。
- ・ これからのテーマではなく、すでに起こっている深刻な問題であると認識しました。
- ・ 外国人住民が市内にもたくさん住んでおられるが、自治体としての対応もまだまだ足りないように思う(情報発信など)。外国人住民に対して、自治体としてどう関わるべきか、外国人にも日本人にも変わらないサービスの提供ができるような取組みが必要だと感じました。
- ・ 地方創生には、多文化セミナーが必要だと思った。
- ・ 外国人との共生社会づくりに自治体が果たす役割が大きいことが理解できた。
- ・ 高齢者の多い地域は外国人に対する偏見があると考えるので、理解活動が大きな課題だと感じております。
- ・ すでに外国人なしで日本の経済は回っていかないことがよくわかった。定住外国人を増やすことを我々も考えていきたい。
- ・ よくわかっておもしろかった。しかし基本的に反対。外国の例を見てもリスクの方が多い。共生は不可能。のっとられて日本人のいない日本になっては元も子もない。
- ・ これから動き出す、香美町国際交流協会の方向について示唆をいただいた講演の内容でした。地域の発展のためには多文化共生への道を探るしかないようで、外国人の方々が、安心し、安定していける社会の環境を思考してこそ、全てそこに住む人々の幸せな社会ができるものと思いました。また、国際交流に関する事業等、ご案内ください。今回はありがとうございました。